

2020年8月31日

学会会員各位

日本輸血・細胞治療学会
クリオプレシピテートの院内調製基準作成タスクフォース委員会 委員長 大石晃嗣
保険委員会 委員長 牧野茂義
理事長 松下 正

「同種クリオプレシピテート作製術」に関する疑義照会について

2020年4月の診療報酬改定で当学会より提案していた「同種クリオプレシピテート作製術」が新規保険収載されました。今回、その算定方法に関する疑義紹介が厚生労働省保険局医療課より各関係部署に事務連絡されましたので、お知らせいたします（添付資料）。その概略を下記に示します。

- 同種クリオプレシピテート作製術の施設基準において、「関係学会から示されているガイドライン」とあるが、具体的には何をさすのか。
 - 日本輸血・細胞治療学会の「クリオプレシピテート作製プロトコール」（日本輸血細胞治療学会会誌, 62: 664-672, 2016）及び「FFP-LR240を用いたクリオプレシピテート作製プロトコール」（日本輸血細胞治療学会会誌, 65: 10-20, 2019）を示す。
- 同種クリオプレシピテート製剤を複数投与した場合はどのように算定するのか。また、作製に使用した血液製剤はどのように算定するのか。
 - 同種クリオプレシピテート製剤を複数投与した場合は、投与したクリオプレシピテート製剤 1 バッグにつき所定点数を1回算定する。その際、当該製剤を作製するのに使用した血液製剤は別に算定する。

以上